

茨木市の向陽台高等学校で単位認定カリキュラム 「物流に関する授業」を実施



単位制コースの単位認定カリキュラム授業

大阪府トラック協会は6月25日と7月13日、茨木市の学校法人早稲田大阪学園 向陽台高等学校の単位制コースの生徒合計47名を対象に単位認定の履修選択科目となる「物流に関する授業」を実施した。

現在、トラック運送業界では若年者を中心とした深刻なドライバー不足が喫緊の課題となっており、大阪府トラック協会では各行政機関と連携しながら様々な人材確保対策を行なっているが、就職についてより具体的に考え始める高校生にトラック運送業界へ興味関心を持ってもらい、将来の就職先の選択肢の一つとしてもらえるような対策に力を入れており、その一環として昨年度は登校型コースの2年生を対象にホームルーム授業内での特別授業として実施したが、今年度は単位制コースの生徒を対象に、2時限で卒業単位の74単位の中の1単位の修得となる単位認定授業として初めて実施した。

1時限目は大阪府トラック協会 滝口敬介 専務理事から、緑のナンバープレートの営業用トラックについての基本的な説明、免許取得制度、最近のトラックの安全装置の進化、災害時の緊急救援物資輸送、トラックドライバーの仕事のやりがいについて説明を行ない、和歌山県トラック協会が人



登校型コースの特別授業

材確保対策として制作したDVD「想い届け人～人の想いと共に走る～」を視聴した。

続いて、2時限目は、堀内運送株式会社 経営企画室・人事課課長 三浦隆志 氏から、CMなどでもお馴染みのトラック運送会社のロゴを用いたクイズを交えながら、物流業界やトラックドライバーのお仕事についての講話や、堀内運送株式会社で実際に運んでいる物についての紹介を行ない、京都府トラック協会が制作したDVD「想いを運ぶトラック」を視聴した。

日常生活のあらゆる場面に物流の仕事が携わっていることや、トラックドライバーの仕事が社会と生活のライフラインを支えていることに新しい発見もあった生徒達は、メモを取りながら真剣に



大阪府トラック協会
滝口敬介 専務理事



堀内運送株
経営企画室・人事課課長
三浦隆志 氏